

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.4.10
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	全体会議出席者

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
① 前回の課題について取り組みましたか？	2 人	8 %	13 人	54 %	7 人	29 %	2 人	8 %	24 人	100 %

前回の改善計画	アセスメントやケアプランなどを読んで利用者一人一人に目を向ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	半分の職員がケアプランを読んで利用者本人や普段の生活、家族や周囲の人について把握できたが、なかなか読める時間を取れないためあまりできなかったとの意見もあり。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4 人	17 %	19 人	79 %	1 人	4 %	0 人	0 %	24 人	100 %
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3 人	13 %	19 人	79 %	1 人	4 %	1 人	4 %	24 人	100 %
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4 人	17 %	15 人	63 %	4 人	17 %	1 人	4 %	24 人	100 %
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4 人	17 %	15 人	63 %	3 人	13 %	2 人	8 %	24 人	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①アセスメントを読むことで職員間で共有されている。ケアマネさんが新規の利用者の情報をまとめてくれるので助かっている。 ②アセスメントやケアプランを確認し、情報を把握している。連絡ノートなどを通じ家族の希望や本人の様子がわかるようになっている。 ③同じ高さの目線で笑顔で心掛けて声をかけるようにしている。利用者さんの一番大事にしているものが何か聞けるよう声掛けしている。出来るだけ多く声掛けするように心がけている。 ④家族や介護者が相談できるように連絡ノートを活用するようにしている。普段より送迎などで出来るだけコミュニケーションを取り、話しやすい環境を作っているつもり。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①アセスメントは読むが覚えておくのは難しい。 ②つい、利用者全員に同じような介助方法を取り勝ち。個人に合わせて介助をしていくことが難しい。何を必要としているのかを理解していなかった。 ③仕事に追われて気になっていても声掛けできずに終わってしまう時がある。入浴当番や受診へ出るときは観察や家族からの連絡ノートに目を通せない日がある。 ④利用者本人とのコミュニケーションは取りやすいが、家族や周りの人たちとはほとんど接点がなく難しい。仕事に追われて利用者の不安や不満を把握できない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアプランやアセスメントに目を通し、連絡ノートや家族からの伝言を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.5.8
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	全体会議出席者

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人	13%	8人	35%	10人	43%	2人	9%	23人	100%

前回の改善計画

ケアプラン・アセスメント表を確認する

前回の改善計画に対する取組み結果

半分の職員がケアプランに目を通し、実践することが出来た。出来なかった職員の中には仕事に追われて読む時間がなかったり、読めても実践することはできなかったという反省が見られた。今回、ケアプランを意識してもらうことは出来たので、続けてケアプランを読み実践していけるように心がけていきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	3人	13%	9人	38%	7人	29%	5人	21%	24人	100%
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0人	0%	10人	42%	10人	42%	4人	17%	24人	100%
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0人	0%	9人	38%	10人	42%	4人	17%	24人	100%
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	3人	13%	11人	46%	5人	21%	4人	17%	24人	100%

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

①一通りケアプランやアセスメントには目を通している。利用者それぞれの目標を意識できるよう気を付けている。普段の会話の中から目標や希望を引き出すようにしている。職員だけではなく利用者も意識していきたい。

②普段の会話の中から希望や要望が聞けるよう工夫している。会話できない利用者には表情や行動をみて想像している。

③本人の力で出来るときはお願いしている。普段コップや皿を拭いたり、おしぼりやタオルを拭いてもらっている。

④その都度個人ファイルや申し送り日誌に記入するようにしている。全体会議やカンファレンスで振り返り皆で話し合っている。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

①どうやって目標を把握すればいいのかわからない。個人ファイルに目を通しても日常の業務の中で忘れがちになってしまう。利用者本人と家族の希望が食い違い、迷う時がある。

②～したいの実現について出来ている点が少ない。一人に関わってられる時間が短い。関わりが薄いとそこまで踏み込んだ会話や行動に移せない。全体的にそこまで深くかかわる利用者が少ない。時間が足りない。

③利用者本人の為にというよりも業務を進めるための介助になってしまい、本人のペースで進められない時がある。

④全体的には良く意見が交わされていると思うが自分個人は中々意見が言えない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

ケアプランやアセスメント(個人ファイルにあり)から長期目標や短期目標を把握し、職員同士で共有・確認していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.6.12
------------------	-----	----------

3. 日常生活の支援	メンバー	全体会議出席者
------------	------	---------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	4	17 %	10	42 %	5	21 %	5	21 %	24	100 %

前回の改善計画	連絡ノートを確認しよう
前回の改善計画に対する取組み結果	当日の送迎者やリーダー・サブリーダーは読む機会があるがその他の職員はなかなか読めないとの意見有。連絡ノートの特記事項を個人ファイルや申し送り日誌に記入できている時は確認できる。読めない職員にも情報が伝わるよう申し送っていきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	0 %	3	13 %	15	63 %	6	25 %	24	100 %
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9	38 %	12	50 %	0	0 %	3	13 %	24	100 %
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	13 %	12	50 %	5	21 %	4	17 %	24	100 %
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	10	42 %	11	46 %	0	0 %	3	13 %	24	100 %
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	13 %	13	54 %	5	21 %	3	13 %	24	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①アセスメント表を見ることで把握できている。話をしていく中で本人が大事だと感じていることに関しては覚えている。</p> <p>②その都度、本人に合わせた介護方法が話し合われている為出来ていると思う。その日の状況に合わせた介護を申し送ることで職員全員に周知することが出来る。</p> <p>③カンファレンスや全体会議で普段の利用者の様子や変わったことなどを話し合い、対応を決めていくので出来ていると思う。</p> <p>④気付いた時にはリーダーやケアマネに報告して申し送り日誌に書くなどして共有して、対応できるように心がけている。定期的なカンファレンスでその時の利用者に合わせて対応を検討し、対応できている。傾聴を心掛けている。</p>	

⑤毎日のバイタルチェックや排泄記録により、体調の変化に気づきやすい。特変があった場合は看護師に相談しやすい環境が作られている。時間の許す限り利用者と話せるよう心掛けている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①すべての利用者分を把握するには時間がかかりそう。以前の暮らし方のように戻れないと本人もあきらめていたりすると、無理を強いるのも申し訳ないと思ってしまう、よけいな手出しをしてしまうことがある。
- ②変更されていることを申し送りで伝えずに変更されていないことがある。
- ③想像や憶測では行動できない。本人が言わなくてもこうしてほしいだろうと思うことを実行しているがそれが正しいとは限らないので気を付けていきたい。
- ④利用者が不穏状態になってから気付くことが多い。それが当たり前になってしまい共有や記録を付けるのを怠ってしまう時があった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

普段の利用者の様子を把握し共有するために、日々の利用者の様子を出来るだけ記録に残す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.8.28
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	全体会議出席者

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組めましたか？	6	25 %	6	25 %	4	17 %	8	33 %	24	100 %

前回の改善計画

利用者の体や心の変化に気付き、記録を共有しよう。

前回の改善計画に対する取組み結果

なかなか記録→報告→申し送り→共有まで行きつかず、記録だけで終わったり、その場にいた職員の間だけで話が止まってしまったりすることがあった。個人ファイルに記録さえあれば、後からでも確認することが出来るので助かった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	利用者本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	4 %	13	54 %	7	29 %	3	13 %	24	100 %
②	利用者本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	8 %	8	33 %	9	38 %	5	21 %	24	100 %
③	事業所が直接接していない時間に、利用者本人がどのように過ごしているか把握していますか？		0 %	6	25 %	9	38 %	9	38 %	24	100 %
④	利用者本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		0 %	2	8 %	10	42 %	12	50 %	24	100 %

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①利用者と話することで知っていることもある。アセスメントや個人ファイルの情報で知っている。

②連絡ノートで必要な事を小まめに家族とやり取りしたり、こまめに家族との接点が出るように工夫している。家族が参加しやすい行事やお祭りや地区の運動会に参加して関係が切れないよう工夫している。

③自宅での様子は家族の連絡ノートや訪問職員からの報告で把握している。

④民生委員は事務所で一覧が貼られているので把握している。ケアマネや家族に聞いて知ることが多い。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①利用者本人にこれまでの事を聞くが覚えていなかったり、正確な情報じゃなかったりするため、後から驚くことがある。</p> <p>②ある程度、自宅や地域の事は家族に任せの方が良いと思う。事業所を利用している時間に出来ることがあればドライブで地域に顔出ししてみるなどして行けばよいと思う。</p> <p>③連絡ノートで家族からの報告を見るだけで、本人に聞いても覚えてないことが多い。家族と利用者と職員と一緒に話せる機会がもっと増えたらいいなと思う。</p> <p>④民生委員を誰がしているのかまでは把握していなかった。地域資源が少ない為、利用できる選択肢も狭い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>家族や利用者さんの周りの人と交流できる行事に参加しよう。</p>	

事-④

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.9.25
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	全体会議出席者

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	17 %	15 人	63 %	2 人	8 %	3 人	13 %	24 人	100 %

前回の改善計画

資料を読んで小規模多機能事業所について理解しよう。

前回の改善計画に対する取組み結果

今まで知らなかった仕組みや、特徴を知ることが出来た。読めてない部分もあるのでちゃんと読んでいきたい。もっと勉強しなければいけないと思った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2 人	8 %	5 人	21 %	13 人	54 %	4 人	17 %	24 人	100 %
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8 人	33 %	11 人	46 %	2 人	8 %	3 人	13 %	24 人	100 %
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	7 人	29 %	14 人	58 %	2 人	8 %	1 人	4 %	24 人	100 %
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	9 人	38 %	11 人	58 %	3 人	13 %	1 人	4 %	24 人	100 %

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①多職種事業所や行政に相談や連携を積極的に取って活用していると思う。

②体調不良や台風時なども柔軟に対応できており、適切だと思う。

③日々の申し送りやカンファレンスへの参加や結果を読むことで共有されている。

④体調はもちろん、その日の利用者の気持ちによってご飯の時間やお風呂の有無など柔軟に対応できていると思う。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

①事業所間や多職種とのやり取りは職員が直接しないので分からない。地域資源が少ないので利用しようがない。利用者の周囲にまで関わると一職員では対応できなくなるので、あくまで家族や利用者個人を通して利用していく形になると思う。

②家族の事情と利用者の希望が合わない時がある。

③自分が気付くことは限られているが、他の職員の記録をみて気付かされるときはある。

④どうしても、忙しい時は待たせてしまったりしがち。利用者に合わせて他の利用者の不穏を招くことがあり、その時は無理に距離を置いてもらう時もある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

利用者に関わる時に、個人だけではなく事業所として何が出来るか広い視野で見たい。

事一⑤

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.10.16
6. 連携・協働	メンバー	全体会議出席者

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	8%	10	42%	5	21%	7	29%	24	100%

前回の改善計画 運営推進会議録を読む。
前回の改善計画に対する取組み結果 なかなか全部を読む機会はなかった。改めて外から自分たちの事業所を見たような気持ちになった。これから時間が空いた時は読んでいきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2	8%	3	13%	4	17%	15	63%	24	100%
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4%	2	8%	2	8%	19	79%	24	100%
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		0%	4	17%	7	29%	13	54%	24	100%
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	6	25%	10	42%	0	0%	8	33%	24	100%

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
①担当の職員は出来ている。カンファレンスや全体会議などで結果を知ることが出来る。	
②運営推進会議には町の職員が参加している。	
③運動会やお祭りに参加することはある。	
④地元の小学生や中学生、幼児などが訪問してくれる。利用者の友人などの高齢者が面会に訪れることがある。	

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①自分は今中々参加できる機会は少ないが、ケアマネや管理者が出席していることは知っている。
- ②事業所単位では参加しているとの事だったが、知らなかった。
- ③会議などには個人単位でしか参加していない。
- ④地域の学校などの訪問はあるが、なかなか面会者や相談以外の目的で事業所を訪問する人はいない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

地域の中で自分の事業所が出来ることはないか考えてみよう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.11.13
------------------	-----	-----------

7. 運営	メンバー	全体会議出席職員 名
-------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	21 %	4 人	17 %	5 人	21 %	10 人	42 %	24 人	100 %

前回の改善計画	ヒヤリハットや事故報告書の結果を読み返してみよう。
---------	---------------------------

前回の改善計画に対する取組み結果	時間がなくてできなかった。様々な対策がなされていることが分かった。
------------------	-----------------------------------

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	4 人	17 %	6 人	25 %	5 人	21 %	9 人	38 %	24 人	100 %
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4 人	17 %	9 人	38 %	8 人	33 %	3 人	13 %	24 人	100 %
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1 人	4 %	6 人	25 %	4 人	17 %	13 人	54 %	24 人	100 %
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	人	0 %	4 人	17 %	7 人	29 %	13 人	54 %	24 人	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①全体会議や意見箱を通して意見が言える。 ②意見が苦情が上がった時は報告書が作成されて対策会議で対応している。 ③今の所、苦情などは聞いたことがない。 ④出来る限り参加できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①夜勤が多く、あまり全体会議にも参加できないので言えない。 ②小さなことでも話し合い対策できているが、同じことが繰り返されたりする場合もあるので気を付けていきたい。(洋服間違え等) ③ ④地域の行事や催し事に参加できる種類のものが少ないので見学だけになりがち。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所がどのように地域に関わっているのか考えてみよう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H30.12.13
------------------	-----	-----------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	全体会議出席職員 名
-----------------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
⑥	前回の課題について取組みましたか?	6 人	25 %	13 人	54 %	1 人	4 %	4 人	17 %	24 人	100 %

前回の改善計画	個人情報が漏れないように工夫する。(職員同士の声の大きさなど)
前回の改善計画に対する取組み結果	意識して気を付けていれば出来ない事はなかったが、気が緩むと大きな声で利用者の事を離してしまいそうになる。事業所外では話すことはないが、事業所内でも改めて気を付けようと思った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5 人	21 %	7 人	29 %	8 人	33 %	4 人	17 %	24 人	100 %
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3 人	13 %	6 人	25 %	7 人	29 %	8 人	33 %	24 人	100 %
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	4 %	1 人	4 %	3 人	13 %	19 人	79 %	24 人	100 %
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5 人	21 %	10 人	42 %	5 人	21 %	4 人	17 %	24 人	100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①毎月の全体会議での勉強会に参加できている。参加できない時は資料を読んでいる。</p> <p>②個人で研修に参加するときは試験日は出勤扱いやシフトを調整してくれるので資格取得に行きやすい。</p> <p>③事業所単位では参加してる。</p> <p>④ヒヤリハット・事故報告書が作成され、対策が取られている。そのほか生活安全委員会で利用者の安全な生活が守られるよう対策されている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①事業所内の勉強会には参加できているが、事業所外の勉強会には参加できていない。どんな研修があるのか情報が入ってこない。</p> <p>②特に資格を取ってもあまり変わらないので取る必要がない気がする。</p> <p>③どこで行われているのかも知らないし、誰が参加しているのかも分からない。</p> <p>④ヒヤリハットや事故報告を気付いてもいそがしくて書かない時がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個人目標に沿って実行していこう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	H31.1.8
------------------	-----	---------

9. 人権・プライバシー	メンバー	全体会議出席職員 名
--------------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	22 %	13 人	57 %	3 人	13 %	2 人	9 %	23 人	100 %

前回の改善計画

身体的な虐待だけではなく言葉の虐待にも気を付けよう。プライバシーの侵害や個人情報の保護について職員同士の会話にも気を付けて行こう。

前回の改善計画に対する取組み結果

ほとんどの職員が出来たと答えた。意識して個人情報やプライバシーに配慮することが出来たが、自分では気づいていないところで配慮が足りなかった場面が多々あった。これからも気を付けていきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	身体拘束をしていない	5 人	21 %	17 人	71 %	2 人	8 %	0 人	0 %	24 人	100 %
②	虐待は行われていない	9 人	38 %	15 人	63 %	0 人	0 %	0 人	0 %	24 人	100 %
③	プライバシーが守られている	5 人	21 %	6 人	25 %	11 人	46 %	2 人	8 %	24 人	100 %
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1 人	4 %	4 人	17 %	4 人	17 %	15 人	63 %	24 人	100 %
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6 人	25 %	12 人	50 %	2 人	8 %	4 人	17 %	24 人	100 %

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①やむを得ず必要な身体拘束はなされている。安全確保のためのセンサーや柵等。

②見たことがない。

③理解できている職員は大方守られている。忙しい時などにうっかりして忘れてしまうときはあるが、気を付けるようにしている。

④利用が必要な人が今の所居ない。

⑤個人個人が気を付けられている。勉強会を開くなどして職員が理解しやすいようにしている。守秘義務誓約書を書いたので外では言わないよう気を付けている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

①絶対してないとは言い切れない。やむを得ない事情でしてしまうこともあるし、身体拘束がどんなものなのか意識せずに介助していたので後から身体拘束だと知ったこともある。

②身体的な虐待は見たことも聞いたこともないが、精神的に言葉や態度で利用者を傷つけるような言動の職員はたまにいる。

③意識している時は出来るが、急な場面や急いでいる時はうっかり忘れてしまう時がある。(おむつ替え時のカーテンを閉め忘れる、脱衣所の戸をいきなり開けてしまう等)

④必要な利用者がいない。

⑤気を付けてはいるが、忙しくておろそかになってしまう時がある。田舎の事業所なので外で利用者の事を知らない人に聞かれることも多く、話せませんという怒らせたりなどするので難しい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

虐待や個人情報保護・プライバシー保護に関して職員同士で意識しながら介護していきましょう。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	有限会社 岡村	代表者	代表取締役 岡村 栄一	法人・事業所の 特徴	地域密着型特定施設と併設されており、屋久島町にただ一つの小規模多機能である。海と山とが一望できる。利用者が自分のペースで通いや宿泊、訪問を利用できるように、家族・職員・看護師との連携を密にし利用計画を立てて、家族の急病や台風などによる急な利用にも対応している。常時見学なども受け入れており、地域住民とも親交を深め親しみやすい施設を目指している。
事業所名	ひまわりのお家	管理者	岡元 さつき		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	1 人	0 人	2 人	0 人	1 人	3 人	1 人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	初年度という事で職員と話し合い基礎的な事から見直し自己評価に取り組んだ。来年度は今年度の反省を生かし、事業所全体で取り組んでいきたい。	事業所全体で取り組むことが出来た。より深く自分の働いている事業所について知るきっかけとなった。	具体的な計画が立てられており、取り組むことが出来た。意識して取り組むことで気付きや新しいことに取り組む意欲が生まれた。	引き続き、事業所全体で取り組んでいけるよう職員に周知、呼びかけていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関ロックについて職員数に余裕があつて目が届くときは玄関ロックを解除しておくなどを試してみる。	鍵のかかっていないテラスの出入り口からの無断外出なども発生し、鍵を閉めることに関しては色々試すことが出来なかった。	玄関へはロックがかかっており、自由に入出入りできないが、安全が確保されている窓は解放されているので閉じ込められているという感覚は薄い。	玄関ロックを常時解除は難しいが散歩や買い物、ドライブなど、利用者が行きたいところへ行けるよう配慮していく。
C. 事業所と地域のかかわり	ボランティアや地域の学校や保育所などの訪問を積極的に受け入れる。利用者との外出時や送迎・訪問時はひまわりの職員としての意識を持って地域の方と接する。	多くの地域の方々の訪問を受け、外からみた事業所を意識するようになった。	挨拶や地区の行事への参加はしているが、事業所そのもののアピールが足りないのでは?もっとひまわりを知ってもらえるよう活動しても良いのでは?	ひまわりのお家から地域に発信できるようなイベントや行事について検討していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者が暮らしている地域や祭りに出かける。地域で過ごす時間を出来るだけ作る。	地域の祭りや行事に参加できる利用者もいたが、体力や家族の事情で参加できない利用者もいた。	地域と密着した関係性がまだ作れていない。個人間での関係性はあっても事業所として関係していくのは難しい。	家族や周囲との連携を深め、利用者自身の希望や出来ることを応援できる下地を作っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で上がった議題を職員にも共有・周知できるようにする。	運営推進委員会の議事録を職員や来客・家族がいつでも手に取れる玄関に配置している。	運営推進委員会では、相談員や役場職員との意見交換の中で事例などを交えて話し合うことはある。運営推進委員会として地域での取り組みに参加したことはない。	運営推進委員会で町や地区の情報や実情等の情報を共有できるよう、掲示などに加えて全体会議などでも周知していく。
F. 事業所の防災・災害対策	風水害避難マニュアルの見直しと職員への周知をする。	風水害避難マニュアルの見直しはしたが改定・周知までできなかった。	実際に風水害の避難訓練などが地域で行われず、どのような改善点があるのか確認しづらい。	風水害マニュアルの整備を安全生活委員会で進めていく。